

第 1 2 回 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会

議事概要

- 1 開催日時 : 令和 5 年 2 月 22 日 (水) 14 : 00 ~ 16 : 00
- 2 場 所 : さつき会館 (島根県飯石郡飯南町八神 117-1)
- 3 出席委員 : 委員長 塚原 隆昭
委 員 空岡 健、上田 進一、藤原 昭男
後藤 耕、杉谷 博之、小谷 哲也 (名簿順)

4 議事次第

- ① 開 会
- ② 委員長挨拶 塚原 隆昭飯南町長
- ③ 議 事
(1) 令和 4 年度アクションプラン実施内容の報告
(2) 第 2 期 志津見ダム水源地域ビジョン策定について
(3) 令和 5 年度アクションプラン実施内容 (案)
(4) その他
- ⑤ 閉 会

5 配布資料

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 資料-1 | 令和 4 年度 アクションプラン実施内容報告書 |
| 資料-2 | 第 2 期 志津見ダム水源地域ビジョン策定について |
| 資料-3 | 第 2 期 志津見ダム水源地域ビジョン (案) |
| 資料-4 | 令和 5 年度 アクションプラン実施計画 (案) |
| 参考資料 1 | 第 1 1 回志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会議事概要 |
| 参考資料 2 | 第 1 期 志津見ダム水源地域ビジョン (後期版) |

6 委員長あいさつ

- ・ビジョンの中でも重要なアクションプランとして位置づけているコスモス祭りが、秋に盛大に開催できた。たくさんの来場があり、主催者側として大きな喜びであり、今後も頑張っていこうという励みになった。
- ・志津見ダムが完成して 11 年が経過した。関係者の皆様の協力、その思いを忘れてはならないと思っている。ダムと放水路は既に完成したが、まだ道半ばである。移転された方にぜひ事業の完成を見て頂きたいと思っている。
- ・志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会は、平成 23 年度にスタートして、年 1 回のペースでこの時期に開催している。今回で 12 年目となる会議である。水源地域ビジョンは 10 年間の計画であるため、令和 3 年度中で次期計画を策定し、4 年度から新たなビジョンを実施していこうと考えていた。しかし、コロナ禍で会議等も開催できず、計画が少しずつれ込んでしまった。

- ・新たなビジョンを皆さん方が本当に思いをもって策定された。マンパワーも少ない中、手作り感をもって策定された計画である。本当にこれが地域のためになればと願っている。
- ・この志津見ダムは、湖面に近づきにくいダムである。治水が主のダムであるから当然であるが、その代わり、中流部・上流部の移転地・外部の方との地域交流が盛んに行われているのも特徴である。
- ・本日の推進委員会では、これまでに実施されたアクションプランの振り返り、新たなビジョンの策定もある。皆様方からご意見を賜って、アクションプランやビジョンの実施によって、地域の元気が継続されることを願って、挨拶とさせていただきます。

7 議事要旨

① 令和4年度アクションプラン実施内容の報告

事務局から、資料－1により令和4年度アクションプラン実施内容の報告を行った。

○：委員からの質問・意見 ●：事務局からの回答

○うぐいす茶屋の来客者数が毎年増加傾向にあることについて、要因をどのように分析しているか。

●コロナ禍の行動制限で、外ならいいだろうということで、三瓶山に行く途中で寄る方が増えた。また、おいしいおそばや大判焼きのことが口コミで増えたりと、情報発信がうまくいったこともあると思う。

○飯南町さん、国交省さん、島根県さんの協力を得てやってきたことが今実を結んできたと言えるのではないか。

② 第2期 志津見ダム水源地域ビジョン策定について

事務局から、資料－2、資料－3により第2期水源地域ビジョン策定について説明を行い、承認された。

○今回重点的に、この部分に力を入れていこうと議論したところがあるか。

●前回もこの委員会で話がでたが、「志々を元気にする会」があまり動いていないということで、少しずつでも動きができればよいと思っている。また、情報発信に力を入れていけたらという話をしている。

○前回のビジョンより追加されたもの、人材の育成・魅力情報発信、を追加した理由を伺いたい。

●今まで「元気にする会」や役場が中心になって動いてきたことを地域の方に下ろし、地域発信でこういうことがしたい、となつて欲しいと思い人材育成を上げている。情報発信は今もしているが、志津見ダムからも情報発信してもらい、人をどんどん呼んで、来てもらえるようになればよいと思っている。

○役所のホームページにリンクをはって、それぞれの情報発信に使っていただけるという方法もあると思う。

○強かに動かしていけるような人材をつくるということは、非常に大事なことだと思うので、このビジョンが機能的に動き出すような仕組みづくりを、ぜひとも早く作ってもらいたい。

- また、「元気にする会」はこういったことを地区のためにやっていますよということを実績として、もう少し広報したら、張り合いも出て一生懸命取り組んでもらえるのではないかな。
- 同じダム地域として、尾原ダムとの交流強化を図っていけば、参考になるのではないかな。
- 活性化について、イベントによる一過性ではなく、継続性・持続性のある交流人口増加が求められる。しかし、地域内で増やしていくことは限界があるので、地区外からの交流人口を増やしていく必要がある。その中で注目すべき概念として、「関係人口」というものがある。この「関係人口の増加」が今後交流人口増加のヒントになるのではないかな。
- お客様をお迎えしてもてなす、ということの方が多いのだが、自分たちも楽しむ、という取り組みもあってよいのでは。
- 花の時期にできることは何かないだろうか。

③ 令和5年度アクションプラン実施内容（案）

事務局から、資料－4 令和5年度アクションプラン実施内容（案）の説明を行い、承認された。

④ その他

事務局から、ダム貯蔵酒について検証中間報告を行い、本格運用に向けて占用の手続きを進めていくことが承認された。

○ラベルについて、また本数についてどうされるか考えがあれば聞きたい。

●ラベルについては、このラベルなら治酔だなとわかる、という意見もあるので皆様のご意見を聞きながら検討していきたい。

○そこは販売される方に任せた方がよい。

●本数は、製造する酒店と、販売する酒店と協議しながら決定することになる。

○先に予約受付をすればよい。

○改善するところは改善していけば、結構売れるような可能性を持っていると思う。

以上